



舟渡小☆コミュニティ・スクールいだよ!

令和6年度 第4号

板橋区立舟渡小学校

校長 梶田 佳江

記録 舟渡小PTA会長
塚本 原野

令和7年1月21日

第4回 板橋区コミュニティ・スクール(iCS)委員会 ご報告

令和6年度 第4回コミュニティ・スクール委員会を以下のとおり開催いたしました。

「子どもたちにこんな学習をしてほしい」をテーマに4つのグループで熟議を行いました。

開催日時：令和7年1月17日(金) 15:00~16:30

場所：舟渡小学校図書室

司会：地域コーディネーター 高橋 慶太 様

次第：

- (1) 校長あいさつ
- (2) iCS委員長あいさつ
- (3) 令和6年度 学校評価について
- (4) 令和7年度 教育課程について
- (5) 熟議『舟渡小の子どもたちにこんな学習をしてほしい』
- (6) オブザーバー/委員の皆様より

・令和6年度 学校評価、令和7年度 教育課程について

学校評価については、中間評価として教師による自己評価、改善案を記載している。参考の上、評価をお願いしたい。

教育課程については、志村第五中学校と連携して、豊かな心を育て、郷土愛、地域が大好きな子どもたちを育てていきたいと考えている。

また、新教育長より学校独自の特色を出してよい、という方針が出たため、本日の熟議にて、舟渡の子どもたちに学ばせたいことについての意見やアイデアを募集したい。事務職や区役所の防災課からも一緒に取組をしたいと意見を頂戴している。地域の防災訓練の際に、何か子どもたちができることはないか、などを模索していきたい。防災に関しても意見をいただきたいと考えている。

～「子どもにこんな学習をしてほしい」事前意見～

異文化に触れてもらいたいと考えている。インバウンドや海外からのお子さんの入学なども増え、周りの友達を理解する、世界は広いことを知ってもらう、異文化をまずは知ってもらうことが大切であると考えている。(本校事務職員より)

防災については、板橋区より学校防災と地域防災の連携強化について、舟渡小に協力してもらいたいと意見をいただいている。学校公開などとタイアップしていくのがよいのではないかと。ハザードマップ確認、起震車をお呼びする、体育館で避難所体験をするなどの取組をしてはどうか。

4年生児童からは、タイピングコンテストをやりたい、という意見ももらっている。保護者からも前向きな出前授業のご意見もいただいている。できるだけすぐに実現していきたい。

・iCSアドバイザーより

一般社団法人共創プロジェクト代表理事 香月よう子様より

学校評価でコメントが書かれているのは素晴らしい。例えば廊下を走る子どもたちの人数をカウントして、グラフにして算数の勉強をする。危ないところを知ることができるポスターを作って注意喚起するのは図工の授業など、先生方がカリキュラムを考える時間を生み出すために地域からのサポートが必要。

※地域教育力推進課 地域連携係 高橋帆花様にもご同席いただきました。ありがとうございました。

熟議『舟渡小の子どもたちにこんな学習をしてほしい』

熟議結果は下記のとおりです。(詳細は裏面をご覧ください。)

・金融教育

お金の使い方、殖やし方を知る。キャッシュレスの仕掛けや使いすぎないように教育。地域の会社の方々から会社では、どうお金を使っているか、儲けているかなどのお話を聞く。

・防災体験

避難所での衣食住体験。体育館を避難所としてシミュレーションしてみる。一晩真っ暗な中で過ごす、どれくらい不便かを知る(防災宿泊訓練)。自分たちは守られるだけではなく、高学年などは、高齢者や乳幼児を助けていく、という観点で考えられるとよい。(自助・共助・公助の視点)

水害時は舟渡小は避難所にならない。志村坂上まで、どのくらい前から歩かないといけないか、災害が起きている前提で、どのルートを歩くとよいか、などを考え、体験させる。

・異文化体験

給食に他の国の食事を取り入れたり、他の国のイベントを取り入れるなどする。板橋区では、マレーシアとの交流が盛んである。リモートを取り入れた交流なども実施したい。

・舟渡昔ばなし(実施確定!ぜひ裏面をご確認ください!)

町会長や、地域の方より舟渡の昔ばなしを聞く。製造・工業の町だった舟渡について、教科書にはない話を聞き、自分たちが暮らす町について興味を深めてもらう。

・工場見学、製造・農業体験

過去に実施していた工場見学を復活させてはどうか。モノづくり、工業・農業体験。野菜を作って、売ったり食べたりする。

・高齢者との関わり

高齢者介護は、現在は機械を取り入れて、DX化が進んでいる。そういったことを体験するのはどうか。おむつ体験、ミキサー食を食べてみるなど、踏み込んだ体験も可能にしたい。

・舟渡ラーメンをもっと知る

舟渡ラーメンについて、チラシやのぼり旗を作成したが、もっとできることを考えてみたい。舟渡ラーメンに合うトッピングは何かを考える、何が入っているか、単価はいくらかを知るなど、食べる以外のことを学んでいくのはどうか。

・その他

ディベート体験：世の中との関わり、自分の意見の発信力を高める。地域の方にディベート指導を依頼するなど。

キャリア教育：地域の方より、様々な職業の話を聞く。

舟渡のまちづくり体験：自分たちが舟渡の町を運営するなら何をするか考えてみる。

土手マラソン：体力が落ちてきている。復活させてはどうか。

次の予定

次の開催は、右記のとおり予定をしています。

第5回は、令和6年度学校評価と令和7年度の教育課程の承認が主なテーマとなります。

次回(第5回)
開催日程は
2月21日(金)
15:00~16:30



～iCS委員会の様子～

各グループともに
活発に意見が交わされました！



1班
子どもたちに学習をさせたい

- お金の学習 (4年生くらい～) **株・税金 給料**
(おこづかい・金融教育・出張授業・キャッシュ(使いやすさ)
お金の生み出し方 → 教育課程になかったが、やれるかも！)
- モノ作り **製造工場を見せたい!**
舟渡は製造業多い。グラフィックデザイン。日本倉庫。
印刷。ものづくり研究開発連携センター

+α. ニハカチの舟渡は住宅の町 2月実施?
1月18日 変更あり
舟渡昔ばなし (町会長講師) **清掃印刷**

2月3日
道が無いとこから、どうして作られたか。は元気が
昔の遊び場は火葬場、荒川の入り江
学校は線路が昔あった。社宅だらけ。JRまで
ドッグが7色にはてた(印刷インク) 変わった
小さな子はせんせよく日本一にはた...

防災 交通事故気をつける。ニハカチ洗滞増。
水害対策(貯水池できたので大丈夫...?)
交通事故発生! スクールゾーン馬出しNGとか

B

- 体づくりにマラソン(高橋君との交流)
- 避難所での食生活の体験
- 異文化/違いの理解 (7月、新聞、中)
- 食事に取り入れる。EPA制度。バント・祭り
- 高橋君との交流 (池田君) スミ、ニハカチ
- DXを知る
- 説明、プレゼン大会
- にんげん作
- ものづくり
- 農業 子業
- たき火



4 舟渡の子どもたちにやらせたいこと!

舟渡ラートン
・チラシの作成(7月、草紙、作り方、お礼の言葉)
EPA以外のことを体験させる。
→ マラソン大会(2月)体験(2月?)
→ トレーニング(3月)体験(3月?)
→ 避難所体験(3月?)

防災
・避難所体験(3月)と食事(3月)
・授業の教科書より長時間やってみよう。体験させた
・避難所体験(3月)と食事(3月) → マラソン大会(2月)体験(2月?)
→ トレーニング(3月)体験(3月?)

地域に...
・マラソン大会をやってみよう。(高橋君の地域でやる)
・子どもたちに避難所の見学(おもしろい)としてみよう。
→ 避難所体験(3月)と食事(3月)。マラソン大会(2月)体験(2月?)
・高橋君の地域でやる。

防災
防災宿泊訓練
・地域の組織を入れる。
(消防車、電気を起こすなど)
① → ②への橋のたわみ
あそびの時間!

異文化交流
板橋区マレーシアとの交流 (中学)
それぞれの学校生活
・リモートを用いた交流
高橋君の地域(海外のつながりのある地域)
マラソン大会(海外のつながりのある地域)

世の中との関わり
・チャット **ガス**
・職業についてのお話(地域)
・せいじんキャンプ(3年生より 拡大)

舟渡の町づくり → 町の運用
お金の使い方
増やし方
①に伝えたい!
花火人の準備
花火の準備
あそびの時間!

